

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成29年10月20日（金）午後6時30分～8時15分

【会場】南コミュニティセンター

【対象地域】緑町・扇町・南町

【出席者】33人

【記録者】北條

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>最近 JR 北海道のことがニュースに流れることが多い。根室線と富良野線では乗車率は違うため、一概に鉄道を廃止することにはならないが、近年では高齢者が運転免許証を返納している状況や道路網も発達していることから、バスに転換することはやむを得ないのでは。</p>	<p>【市長】根室線の中でも富良野～新得間は高校生や通院する人の割合が多く、南富良野高校には23人の生徒が通学するなど、時間帯によって JR が利用されている状況である。バスであれば、停留所が近くなるという利便性もあるが、国鉄分割民営化においてこのような状況になったのは国にも責任があり、市民のさまざまな声や、地域としてできることなどを国に示しながら、鉄道の存続を訴えていくことが必要であると考えている。</p>
総務部	<p>時間帯によって JR を利用する人が極端に少ないときがある。待ち時間も長く、便数も少ない。このような状況で利用してほしいと言われても、なかなか難しいと思う。本州の JR は観光を上手く利用しているが、JR 北海道は何もしていないように思える。金利が低い状況となったことも含め、国に対して訴えるべきと考える。</p>	<p>【市長】JR の利用が少なくなると、これまでは便数を減らして対応してきた経過がある。JR を利用してもらえないようなサービスができないか JR 北海道に訴えていく必要があると考える。今回の衆議院議員選挙で、候補者が富良野線を旭川空港経由にするという話をしており、実現した場合は観光客などの利用も増えることから、存続させる一つの方法ではないかと考えている。</p> <p>【副市長】鉄路が無くなった紋別市の意見として、一度鉄路が無くなれば二度と復活させることはできないというお話があり、そういった意見を踏まえ、鉄路を存続させるために、どこまで努力できるかが問われている。</p>
保健福祉部	<p>90 歳になる人が免許証を返納すると言っていた。交通手段としてタクシーの助成はあるが、回数に制限がありなかなか使えない状況である。自転車にも乗れない状況もあることから、近くに循環バスを走らせることはできないだろうか。</p>	<p>【保健福祉部長】外出支援においては、公共交通機関を利用できない人に対して月2回利用できるタクシーチケットの助成を実施している。介護保険計画の策定においても、遠方の方が6千円程度かかるなど、自己負担が大きいことから、何とかしてほしい</p>

		<p>との声が上がっている。アンケート調査の中でも、外出時の足の確保について意見が出されている。循環バスについては、一部の市街地を経由し、利用も通学する時間帯を主として、日中の利用はほとんどない状況であると聞いている。そういった状況を踏まえ、今後は自家用車を乗り合いするなど、地域で話し合うことも必要になってくるが、事故等のリスクもあることから、高齢者対策として検討していきたい。</p>
保健福祉部	<p>買い物は週2回行くと思うので、できれば月4回分くらいのチケットの助成を検討していただきたい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
市民生活部	<p>プラスチックなど、ごみの分別が徹底されていないと資源回収ステーションにごみ袋が残されてしまう状況がある。説明会する前に、審議会やパブリックコメントなどで意見を求めた後に説明会を行うべきと思うが。</p>	<p>【市長】ごみの分別は効率化と再利用のために実施しているもので、市民のみなさんの協力により現在 92%の再資源化率である。固形燃料は販売するとともに、今年からボイラー設備で利用する循環型に取り組みようとしており、そのため分別がきちんとされていないとボイラー設備が傷んでしまい、燃やせばダイオキシンなどの問題も出てくる。今回の説明会は、そういったことを踏まえ、改めて市で再度分別の徹底を図るために実施している。審議会などの意見も必要であるが、今回は初めて実施する事業ではないことから、懇談会や市民の声などを通じて、みなさんの意見を聴いていきたい。</p>
保健福祉部	<p>後期高齢者になると特定健診の通知が来なくなるが、受診率を上げるためにも、はがきなどで呼びかけるサービスがあっても良いのではないか。高齢者が集まる老人クラブも加入者が少ない状況で、声掛けも難しいのではないか。</p>	<p>【保健福祉部長】市では、国民健康保険に加入している40歳から75歳までを主として特定健診を実施している。後期高齢者については市町村で組織する組合より助成しており、集団健診のみ無料で健診を受けることができるため、個々に通知するというより、対象者同士で声掛けをするなど方法も必要である。4月には健康カレンダーを全戸配布し、広報紙においても周知している。</p>

<p>総務部</p>	<p>財政難を理由に助成金を減らした時期があり、さらに市職員などの報酬もカットしているが、いつの間にか回復していた。優先順位としては住民サービスを回復させるべきではないだろうか。</p>	<p>【市長】周知の方法は今後検討していく。</p> <p>【市長】職員の給与は財政の状況に応じて、市職員をはじめ市議会議員も給与をカットしてきたことにより、現在は財政状況が回復している状況である。また、12年間で職員数は70人程度減らしてきている。富良野市においては、主要産業である農業施策を重点において事業などを実施してきた。また、学校についても改築を進めるなど、年度ごとに国の補助金など予算を調整しながら計画的に事業を実施してきている。中心市街地の活性化においても、年間120万人が訪れるようになり、経済効果は120億円程度になっている。市内外から中小企業が新たに店舗を構えるなど、商工会議所の会員数も増えている状況があり、中小企業で働く人も増えてきている。年度で力を入れていく事業や継続していく事業を見極めながら、行政を運営している。また、高齢者に対する助成をはじめ、通院や子育てなど、さまざまな市民のみなさんの要望や意見などを精査しながら各種事業などに取り組んでいる。</p>
<p>市民生活部 建設水道部</p>	<p>昨年の懇談会でお話した駅前の点滅している信号機は、どのような取り扱いになったのか。</p>	<p>【市長】公安委員会に話はしているが、交通量によって信号機を点滅させているとの回答であったが、観光シーズンなど時期的な改善や設置場所を含め、再度公安委員会に話をしていきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>冬の観光客が増えるが、南1丁目と2丁目の道路状況が悪い。できることなら改善願いたい。</p>	<p>【建設水道部長】まちなかの市道の整備については、通学路を中心に整備を進めている状況で、ご指摘の道路については道路の状況が悪くなっていることは認識しているが、計画的に修繕を進めてきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>街路灯が消えている箇所がある。</p>	<p>【建設水道部長】街路灯は建設水道部で管理しているが、防犯灯</p>

建設水道部	駅の噴水のところにある公衆トイレは、夜に照明が消されているがその理由は。	<p>などについては町内会などで管理していることから、現地を確認する。</p> <p>【建設水道部長】トイレについては、照明に虫が寄ってくるということで、地域から消灯してほしいとの話があり消灯している状況であるが、人がいないときに消灯されるよう人感センサーの設置を検討している。</p>
市民生活部	高齢者の医療費で1万4千円を超えた分が還付されるが、その都度手続きするのが大変なので、自動的に還付されるようにできないか。	<p>【市長】所得に応じて医療費が決められているが、制度の内容を含め、手続き方法については確認してお知らせする。</p>
建設水道部	まちなか居住促進事業が進められているが、今後まちなかに人が増える見通しはあるのか。	<p>【市長】まちなか居住促進事業は、中心市街地に住んでもらいながら活性化させていくことが目的であるが、事業が始まったばかりであり、成果は1～2年経過してみないとわからない状況である。</p>
建設水道部	緑町や扇町などでも空き家が目立っている。何か対策はないものか。	<p>【市長】空き家対策としては、市内に400件以上の空き家があり、その内150件は賃貸できる状態の物件である。しかし、家主が市内にいないことや不在であるため管理ができず、隣近所に迷惑をかけている住宅もあり、緊急措置を実施している物件もあるが、空き家対策については今後の課題であると認識している。</p> <p>【建設水道部】空き家については土地と建物の所有者が違うケースも多く、緊急措置が進まない状況はあるが、地域住民から苦情も来ていることから、持ち主とできるだけ話し合いをしながら解決していきたい。また、今年の7月から実施している、まちなか居住促進事業は現在2件の申請しかない状況であり、引っ越しなどの時期的なこともあることから、今後経過をみていきたい。</p>

総務部	庁舎の改築の話があるが、東京オリンピックなどの関連で、たばこの禁煙が進められているが、富良野市の禁煙対策を早めに進めてはどうか。	【総務部長】議会でも質問があり、国も禁煙に関連する法律を作る方向で進んでおり、新法に沿った中で対応していきたい。
総務部	北朝鮮のミサイル発射時に J アラートで国民に周知していたようだが、携帯を持たない人はテレビによる情報しかない。J アラート以外で、市民に対する周知方法はないものか。	【総務部長】周知方法としては、ラジオや安全安心メールにより周知をしているが、メールはまだ 1,000 件程度なので、ぜひ登録をお願いしたい。また、災害時にはサイレンによる吹鳴を実施するが、なぜサイレンが鳴っているのかわからないこともあるので、個々において市役所に問い合わせるなど、情報収集をお願いしたい。